

北九州市 まち・ひと・しごと創生総合戦略 (概要版)

北九州市の地方創生の基本方針

女性と若者の定着などにより社会動態をプラスにしていき、
地方創生の「成功モデル都市」を目指す

基本目標

しごと

●しごとの創出



ひと

●新しい人の流れをつくる

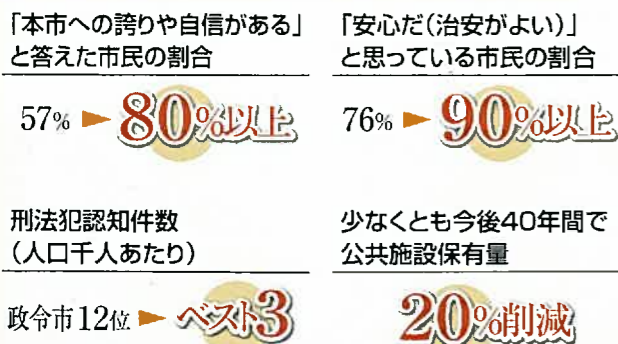


●若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる



まち

●時代に合った魅力的な都市をつくる



2020年の北九州市～地方創生のモデル都市の形成期～

しごと



- ◆付加価値の高いものづくりへのシフト
- ◆環境・エネルギー分野の進展
- ◆アジアとのネットワークの強化

ものづくり、環境など本市の強みを活かすとともに、
新たな都市の課題に挑戦するまちへ

- ロボット、自動車、航空産業の振興策による付加価値の高いものづくりへのシフト
- 多様なエネルギー産業が立地しはじめ、安定・安価・クリーンなエネルギー供給拠点として貢献
- アジアへのインフラ輸出により新たな仕事呼び込まれる
- 北九州空港の利用者、航空貨物取扱量の増加
- 若年層のベンチャー企業の創業が盛んになり、若者からの評価が向上
- 市内企業と学生のコミュニケーションが形成され、地元就職が進む

ひと



- ◆人口減少のスピード緩和
- ◆交流人口の増加
- ◆女性の活躍

首都圏や市外の人々が本市の魅力に触れ、
持続可能で豊かな暮らしを実感できるまちへ

- 社会動態がプラスに転じ始め、出生率の高さ及び子育て環境の良さを背景に人口減少が緩やかになる
- 北九州市出身者のU・Iターン就職者の増加
- 首都圏からの本社機能移転等により雇用が増加
- 観光資源の掘り起こしなどにより交流人口が増加し、サービス産業が発展
- 女性活躍施策の充実により女性が望む形で能力を発揮

まち



- ◆安全安心なまち
- ◆文化・芸術のまち
- ◆都市と自然が調和したまち

若者・女性・アクティブシニアが活躍し、
明るい笑い声に包まれる活気あふれるまちへ

- 刑法犯罪件数減少により、首都圏でのイメージギャップが解消され、安全安心なまちの認識が進む
- 「映画の街・北九州」のイメージが確立、文化・芸術の街として世界に発信される
- 都市のコンパクト化、リノベーション等により機能性と趣きのあるまちへ
- 海峡都市圏を形成しはじめ、福岡県北東部地域との連携強化、東九州自動車道など交通ネットワークも充実
- 北九州市の誇れる資源の積極的なPRによるシビックプライドをもった市民の増加



北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略(概要版)

編集・発行

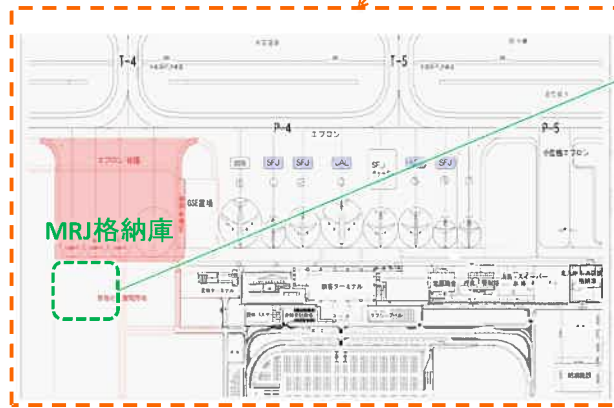
北九州市企画調整局地方創生推進室
〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号
電話:093-582-2174 FAX:093-582-2176
<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/page/kitakyushulife>
発行/平成29年5月

■北九州空港の機能拡充（イメージ図）

【全景写真】

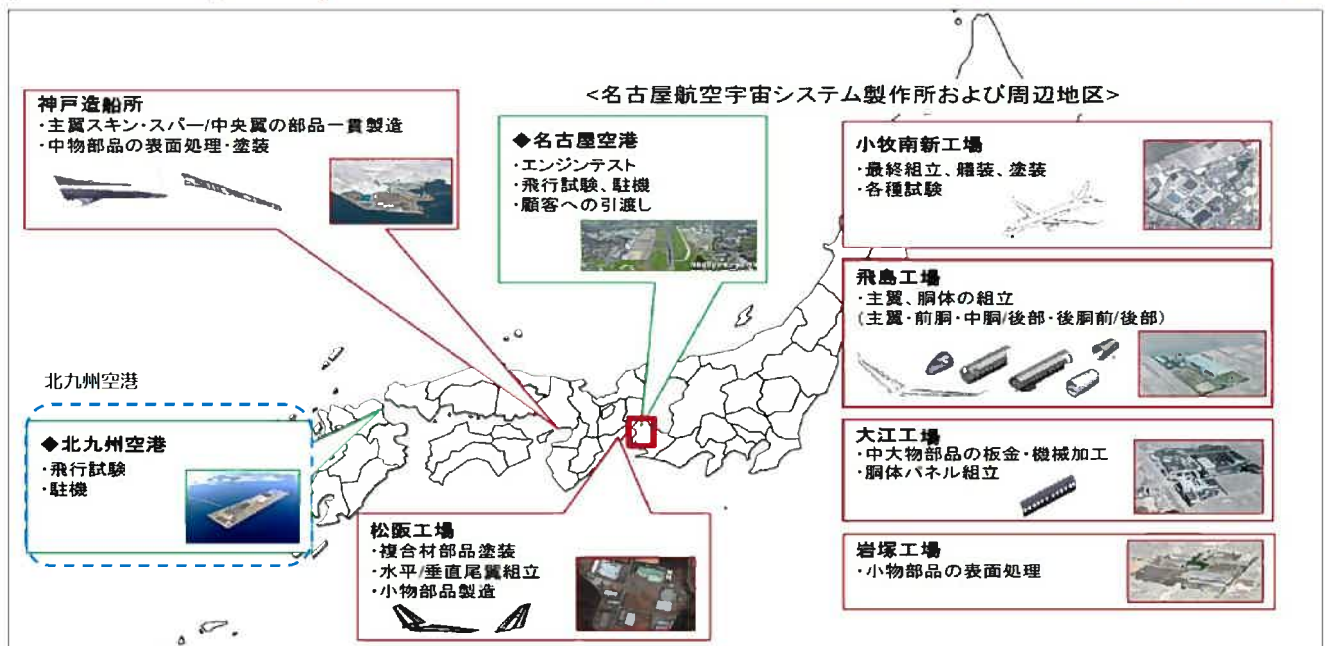


【拡大図】



【MRJ量産に向けた拠点展開構想】

(三菱重工株式会社H26.2発表)



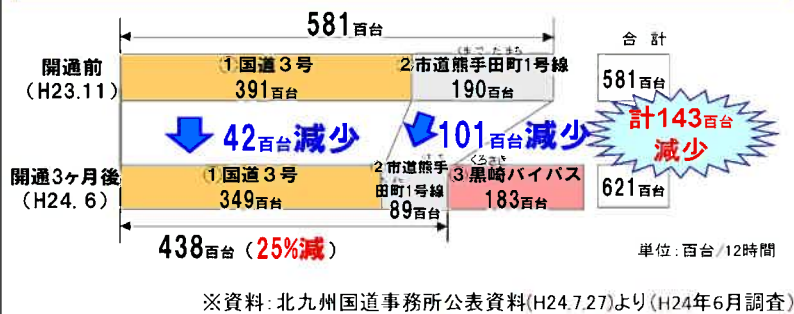
産業と物流を支える大動脈『国道3号黒崎バイパス』



前田ランプ～黒崎北ランプ間供用後(整備効果)

- 並行する国道・市道からバイパスに約3割の交通量が転換
- 西本町～陣原間の移動時間が11分短縮
- 黒崎誇線橋交差点で渋滞解消(若松方面1,190m渋滞→渋滞なし)

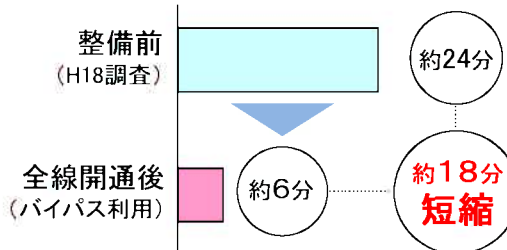
供用に伴う断面交通量の変化(前田～皇后崎4車線化)



さらに全線が開通すると!

全線開通後の整備効果(将来)

国道3号
西本町～陣原間の所要時間

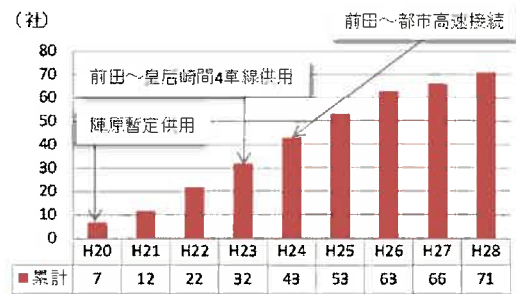


暫定供用時のストック効果

企業の立地状況 (平成20～28年度)

暫定供用後、71社の企業が立地!

⇒沿線には誘致中の遊休地が点在しているため、全線供用すると、更なる企業進出が期待される!



共同住宅の立地状況 (平成20～28年度)

暫定供用後、83棟の共同住宅が分譲開始!

⇒現在も沿線で分譲予定の共同住宅が建築中であり、全線供用すると、更なる住宅開発の促進が期待



都市計画道路戸畑枝光線の整備推進

若戸トンネル
H24年9月開通

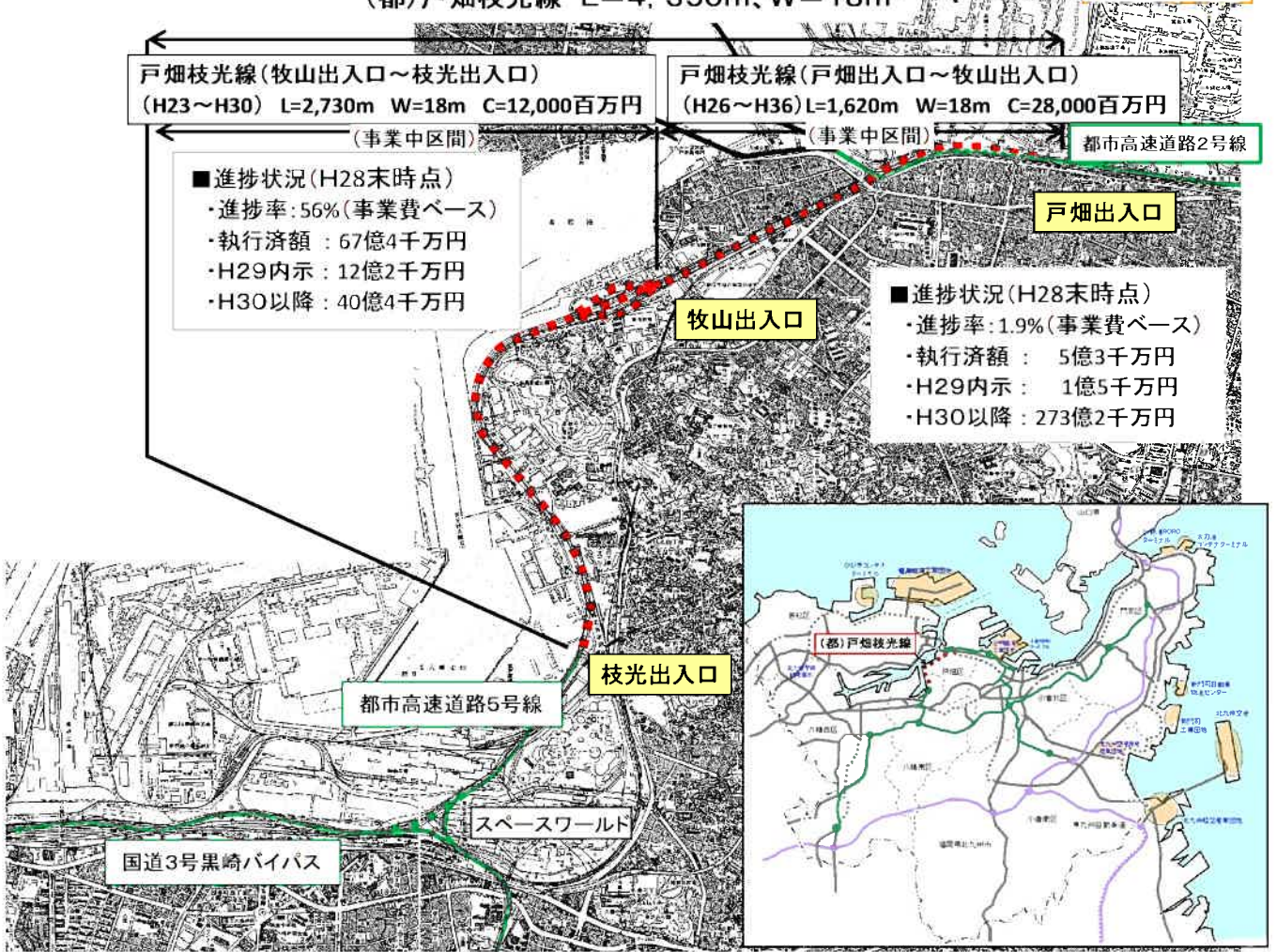
(都)戸畑枝光線 L=4,350m、W=18m

戸畑枝光線(牧山出入口～枝光出入口)
(H23～H30) L=2,730m W=18m C=12,000百万円

戸畑枝光線(戸畑出入口～牧山出入口)
(H26～H36) L=1,620m W=18m C=28,000百万円

■進捗状況(H28末時点)
・進捗率:56%(事業費ベース)
・執行済額:67億4千万円
・H29内示:12億2千万円
・H30以降:40億4千万円

■進捗状況(H28末時点)
・進捗率:1.9%(事業費ベース)
・執行済額:5億3千万円
・H29内示:1億5千万円
・H30以降:273億2千万円



ミッシングリンク解消、リダンダンシー確保のための事業



凡 例	
●●●●●	(都)戸畑枝光線
———	自動車専用道路
———	北九州都市高速道路
———	高速道路

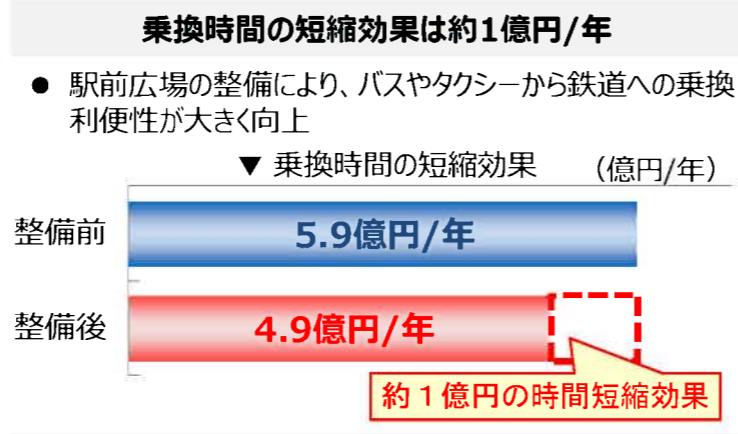
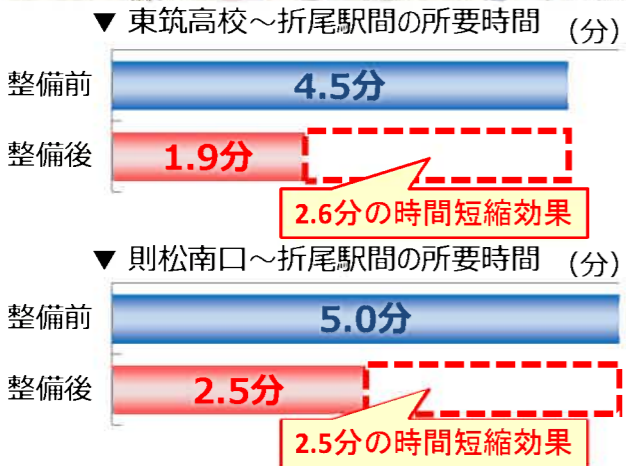
折尾地区総合整備事業



◆事業概要

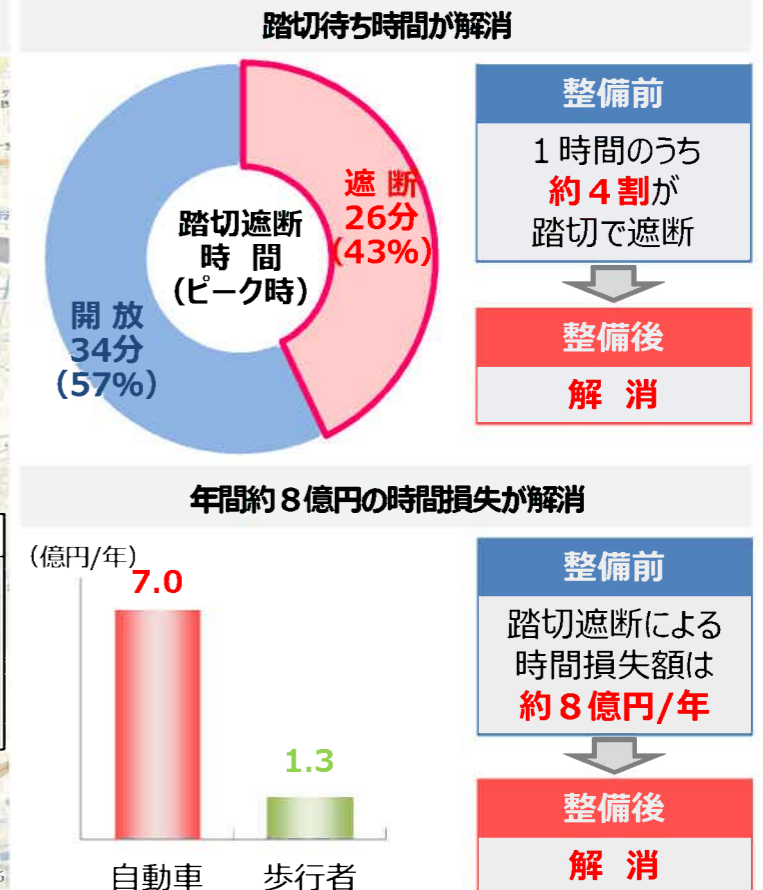
①折尾駅周辺連続立体交差事業	<ul style="list-style-type: none"> 事業延長L=約4.5km (JR筑豊本線=約2.4km、JR鹿児島本線=約2.1km) 事業期間：平成16年度～平成34年度
②街路事業	<ul style="list-style-type: none"> 幹線道路、補助幹線道路、歩行者専用道路など L=約3.7km 駅前広場 A=約1.0ha 事業期間：平成16年度～平成37年度
③折尾土地区画整理事業	<ul style="list-style-type: none"> 事業区域 A=約17ha 事業期間：平成18年度～平成37年度 (清算期間を除く)

②街路事業 ～折尾駅へのアクセスや歩行者の安全性を向上します!～



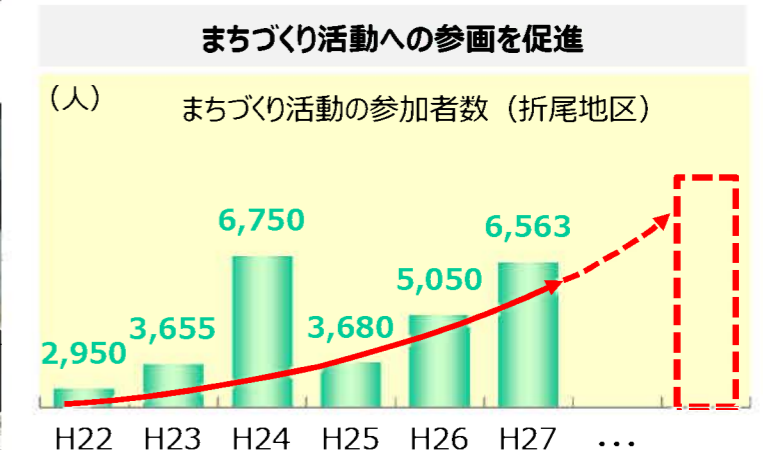
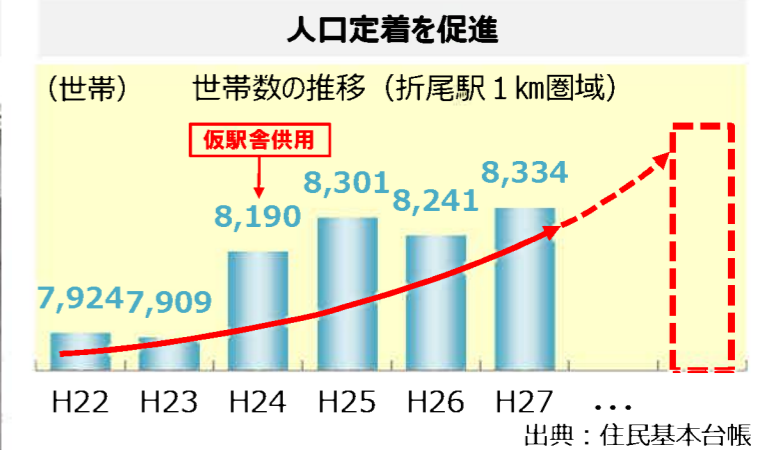
①折尾駅周辺連続立体交差事業

～人・モノの流れがスムーズになります!～



③折尾土地区画整理事業

～人口定着や賑わいのあるまちづくりを推進します!～



折尾地区総合整備事業 進捗状況



撮影(H29.9)

⑤迂回路の整備(折尾堀川町線)



撮影(H29.9)

⑦宅地造成工事(堀川町地区)



撮影(H29.9)

①筑豊本線トンネル工事(国道3号付近)



撮影(H29.9)

⑨折尾警察署跡地開発



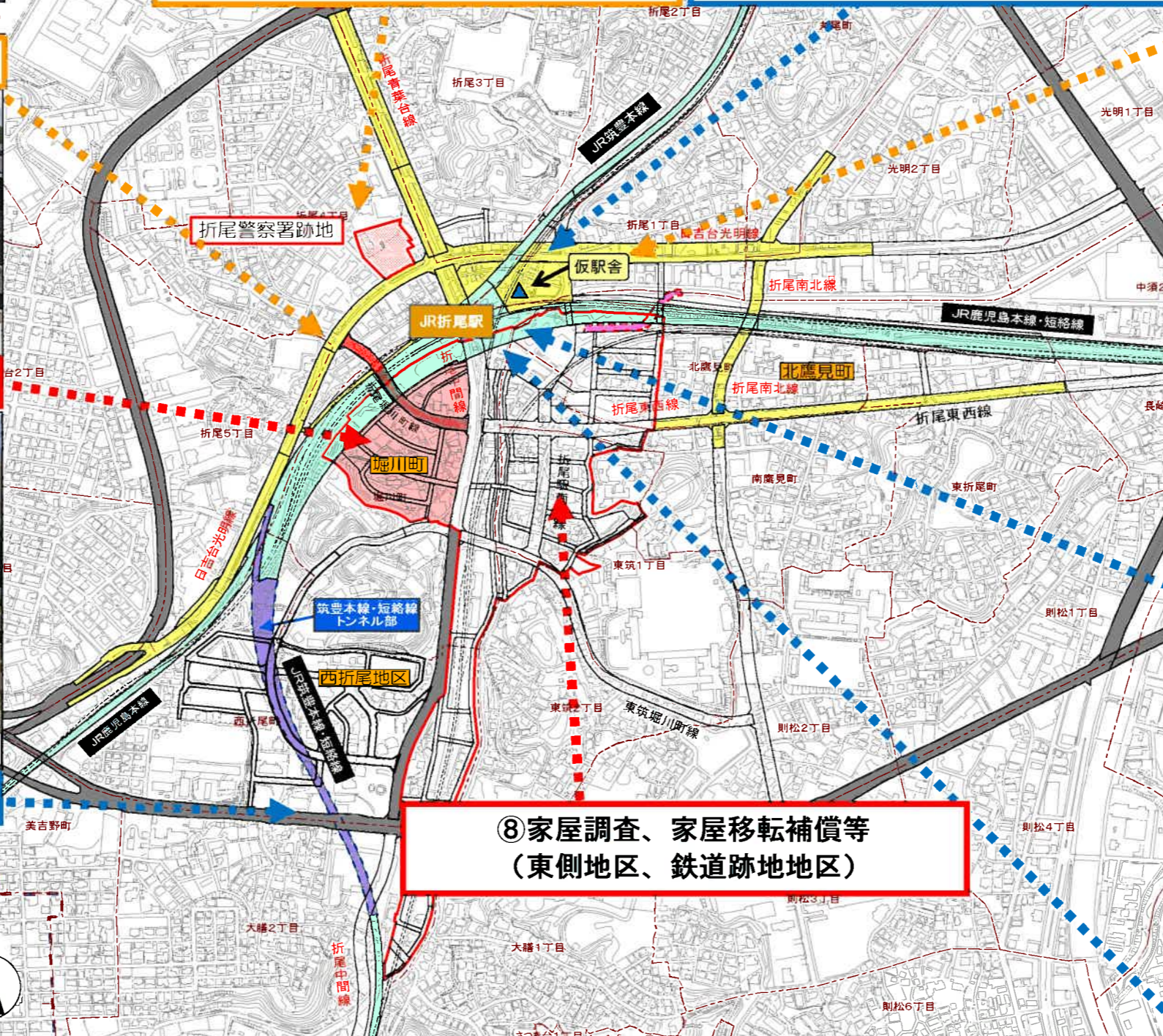
撮影(H29.9)

④筑豊本線高架工事(駅北)



撮影(H29.9)

⑥駅周辺幹線道路等の整備



- 凡 例
- 連続立体交差事業
 - 街路事業(事業認可区域)
 - 土地区画整理事業

⑧家屋調査、家屋移転補償等(東側地区、鉄道跡地地区)



撮影(H29.9)

②鹿児島本線高架工事

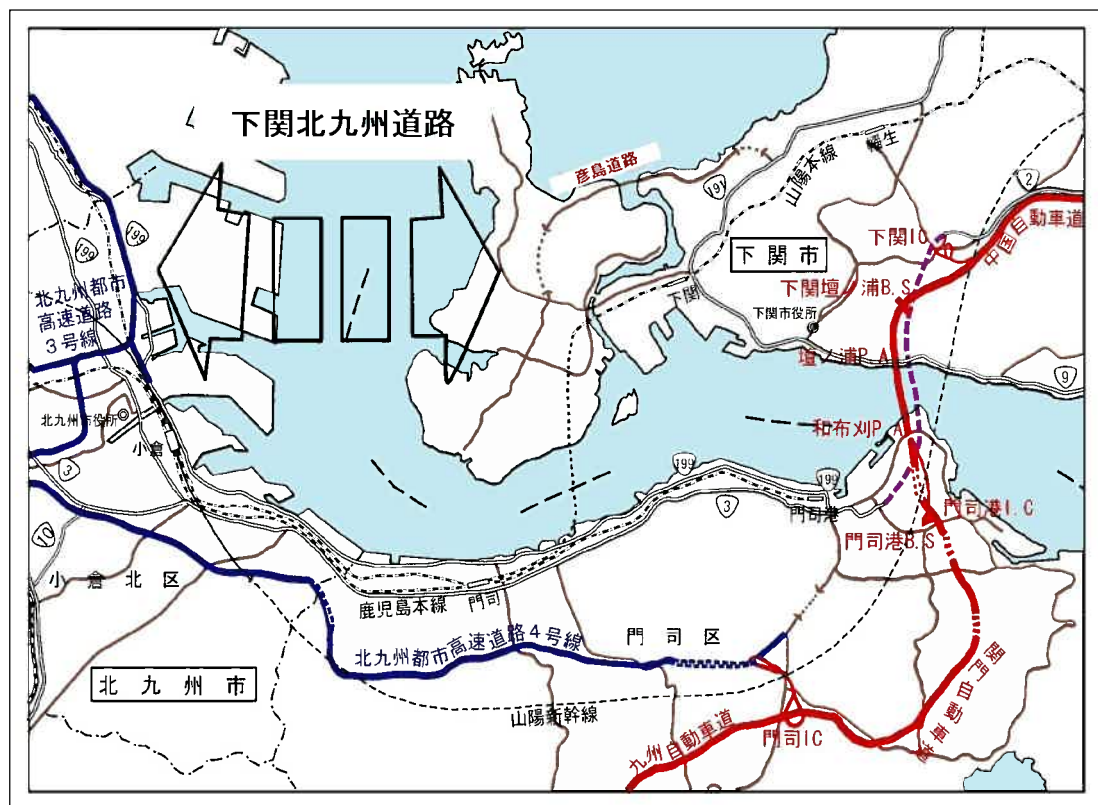


撮影(H29.9)

③鉄道高架工事(折尾中間線)

下関北九州道路について

下関市彦島迫町～北九州市小倉北区西港町付近
延長約6 km（海峡部約2 km）



下関北九州道路の意義

1. 地域間の連携強化を支援する広域道路ネットワークの形成
2. 本州と九州を結ぶ大動脈の代替機能の確保
3. 事故、老朽化に伴う維持補修等による関門トンネルの通行止め等に伴うトンネル周辺における慢性的な渋滞の解消

取り組みの概要

- ・ 地元である2県（福岡、山口）、2市（下関、北九州）では、地域連携に関する調査や広報活動を行うとともに「下関北九州道路整備促進期成同盟会」を結成し、要望活動を実施している。
- ・ 民間においては九州・中国経済連合会が中心となって「下関北九州道路建設促進協議会」を結成し、整備実現に向けた要望活動や独自の研究等を進めている。
- ・ 平成19年度まで、期成同盟会、促進協議会が連携し、随時、「下関北九州道路（関門海峡道路）整備促進大会」を開催するなど、中央への要望活動をしてきた。
- ・ 平成26年8月6日に約10年ぶりとなる促進大会を開催、10月15日に国要望を実施、平成27年度は7月24日に促進大会を開催、8月27～28日に国要望を実施。
- ・ 平成28年度は8月1日に促進大会を開催、8月25～26日に国要望を実施、平成28年度はさらに、国の動きを受けて、12月18日に促進大会、12月21日に国要望を実施。また、平成29年度予算における調査費補助の再要望のため、平成29年3月28日に国要望を実施。
- ・ 平成29年度は8月3日に促進大会を開催、8月10日に国要望を実施。